

We Love 丹沢

ほ ぜん さ い せい
保 全 と 再 生 を め ざ し て

たんざわ おおやま そうごう ちようさ
丹沢大山総合調査ニュースレター 第2号 2005年3月



「アズマイチゲ（大山にて）」

（写真：藤沢市・柏木 英雄）

2004年4月に始まった『丹沢大山総合調査』は、この春でまる1年になります。この調査では、様々な分野の機関・団体・個人が互いに協力しながら、丹沢大山が抱える様々な環境問題の解決に取り組んでいます。ニュースレターでは、調査に参加している方々の現場の声、そして丹沢大山を愛する人たちの声を交じえながら、調査の様子、丹沢の今をお伝えいたします。

大倉尾根は、秦野西小学校農場の堆肥になる材料（刈草）の採集地でした。昭和17～20年（小4～6年）授業で重い草を背負い、往復2時間頑張ったものです。

（秦野市・渋沢老農人）

ブナ林健康度調査に参加。初めて見たブナ林の何と神々しく美しいことか。だが朽ちたり一部枯れたり...「なぜ、保全再生を願わずにはいられません。

（横浜市・百瀬 正勝）

みんなの声 ～人材バンク登録の方々から～

もう、何年も前のことになりますが、「丹沢の山の木々が立ち枯れている。」という報道と、その写真を見て、強い衝撃を受けた事を忘れません。この度「丹沢大山総合調査」のメンバーに加えて頂きたいと願ったのも、自然破壊を食い止めるための、お手伝いをしたいからです。

（横浜市・福田 道盛）

伊豆の河川の堰堤に魚道が少し見られる。丹沢の河川の堰堤には一個も魚道が見られません。一度流されると、魚、山椒魚は湖上を阻止される。

（平塚市・柏木 二郎）

【協 賛】 サントリー(株) / トヨタウエイズグループ / (NPO法人)丹沢自然保護協会 / 東京電力(株) / (株)有隣堂 / 相模鉄道(株) / 小田急電鉄(株) / 神奈川県農業協同組合中央会 / IBS石井スポーツ(株) / 神奈川中央交通(株) / (株)カモシカスポーツ / 和英堂興産(株) / (株)コージツ / (財)神奈川県公園協会 / (財)かながわトラストみどり財団 / (財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 / 神奈川県治山林道協会 / 神奈川県丹沢大山総合調査の趣旨を理解し、資金面のご協力をしてくださる企業・団体・個人を募集しております。みなさんのご協力をお待ちしております。

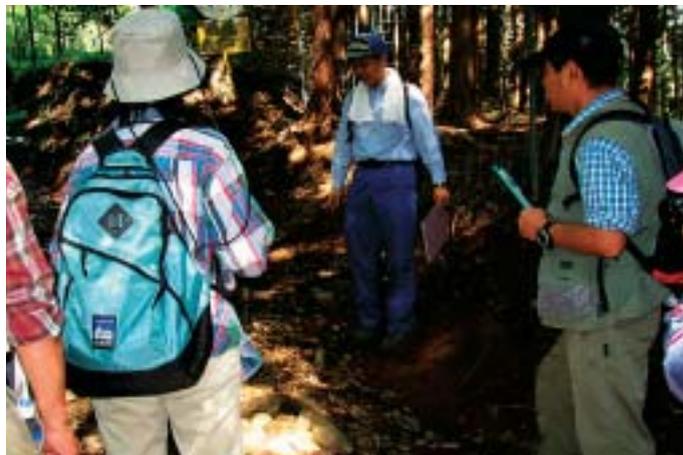
●●●●● せんもんてき 専門的な調査 ●●●●●

丹沢大山総合調査では、生きもの再生調査チーム、水と土再生調査チーム、地域再生調査チーム、情報整備調査チームという4つの専門的なチームにわかれて調査を行っています。今回は、地域再生調査チームと情報整備調査チームの調査員の方々から、どんな調査を行っているのかを報告していただきました。

地域再生調査チーム（ツーリズム・環境教育グループ）

ツーリズム・環境教育グループでは、登山道・登山実態、オーバーユース実態、登山者・キャンプ場利用者の意識、先進的なエコツアー（自然を学ぶツアー）等の調査、それらの情報をコンピューターで地図にするなどを柱として、調査を進めています。

写真は、丹沢大山ボランティアネットワーク、人材バンクの方々と共に、調査説明会（H16/9/23・10/2）を実施した様子です。人が歩いたところは道になり、大勢が歩くと道は掘れていき、雨が流れ浸食が進みます。登山コースを少し外れ、歩きたい場所を歩き出すと、その跡を他の人も歩いて、登山道が広がり、植生の退行が進み、登山道周辺での植生が回復できず荒廃した状態になります。これを登山道のオーバーユースと言います。



調査希望の登山者に好きな時に好きな路線で、登山を楽しみながら調査票に、登山道・登山道施設（*1）について記入してもらいました。現段階でも集計・分析結果では、大倉～塔ノ岳への大倉尾根線が最も過剰に利用されていることが明らかになっています。

（*1）登山道施設とは？...丹沢大山には、下表のような登山道施設があります。

<p>1.丸太階段・ロープ柵 登山道を歩きやすくする。立ち入りを規制し、植生を保護する。</p>	<p>2.水切り 土砂の流出を防ぐ。</p>	<p>3.木道 木道利用により植生を保護する。</p>	<p>4.土留柵・ムシロ伏・植栽 植生を回復させる。</p>

（文・写真：日本大学大学院 杉浦 高志）

情報整備調査チーム

調査員の皆さんがフィールドノート代わりに利用できるデータベースの開発と利用講習会を行っています。その第一弾として開発した「植物フィールドノート（左図）」についてご紹介します。

このデータベースは電子地図ソフトと入力フォームを組み合わせた構造になっていて、電子地図で観察地点を選ぶと、その位置の緯度経度とメッシュ番号を簡単に入力することができます。

調査結果をデータベースに記録するとき位置情報の入力をどのようにするかは従来から課題になっていたことで、住所だと位置がはっきりしないし、メッシュ番号だと誤記が少なくないという問題がありました。植物フィールドノートを使って調査員自身が調査記録と位置情報を入力すれば、記録の集計にかかる時間をスピードアップでき、

転記を繰り返すことによる情報の誤りもなくなることができます。

さらに植物フィールドノートは、調査員の方が自分の観察記録を整理するための機能を備えていますから、丹沢の調査に限らずいろいろな観察記録を入力しておいて、一覧表や分布図を作ったり、標本ラベルを印刷したりすることができます。今後は昆虫やキノコ調査用のフィールドノートを開発する予定です。

（文・図：NPO法人バードリサーチ 神山 和夫）



●●● 公募型調査 ●●●

公募型調査とは、みなさんから調査のアイデアを募集し、丹沢大山総合調査実行委員会により選ばれた調査をいいます。公募型調査には4つの調査がありますが、今回はその中から以下の2つの調査団体を紹介します。

丹沢資料保存会 ～丹沢資料展の開催～

丹沢は、昔の信仰・生活・戦の場から、近年では、登山や自然との触れ合いの山として親しまれてきました。その間の丹沢に関する文献や資料は膨大なものと思われます。最近これらの貴重な文献や資料の一部が散逸しており、なんとかしなければと4年前に立ち上げたのが「丹沢資料保存会」です。貴重な資料の記録・保存・活用を図るために活動しています。最近の丹沢の荒廃は目に余るものです。その保全と再生をめざして、できるだけ多くの人たちに「丹沢の今と昔」を見て欲しいと企画したのが写真を中心とした「丹沢資料展」です。5月に横浜、6月秦野、7～8月宮ヶ瀬、9月藤野、12～2月小田原の5ヶ所で開催します。写真の中には戦前の丹沢や、戦後の日本の自然保護の幕開けともいえる昭和33年に神奈川県山岳連盟が全国に呼びかけ、丹沢全域で実施した「第1回大自然の愛護・美化運動“わらじ祭”」の資料も展示されます。

写真は資料展・展示の選別会議の様子（丹沢資料保存会 写真：高坂 政孝 文：植木 知司）



丹沢大山ボランティアネットワーク ～水質調査～



写真は登山道荒廃度調査の様子（文・写真 丹沢大山ボランティアネットワーク 池野 正）

「丹沢大山ボランティアネットワーク」は、丹沢の自然を大切にしたいという団体の集まりです。国定公園に指定されている丹沢では、自然環境を守るために多くの団体が活動を展開しています。例をあげますと、裸地化した土地を森林に戻すための植栽活動、登山や人の活動によって生じるゴミの清掃や施設（登山道、避難小屋など）の劣化を減らすための整備活動、人手が足りず手入れの遅れている人工林の枝打ち・伐採活動、丹沢大山の自然の豊かさを知ってもらうための動植物の観察会などです。この他に動植物や丹沢の利用状況などの自然環境調査や、フォーラム（勉強会）も行なっています。それぞれの団体の情報交換や、活動に協力し合うことを目的につくられたのが「丹沢大山ボランティアネットワーク」で、神奈川県もこのネットワークに参加しています。

イラスト＆写真コーナー

～人材バンクにご登録の方々から～



『大山清掃登山（十六丁目付近）』（横浜市・百瀬 正勝）



『新装のみやま山荘と
バイオトイレ（右）』（横浜市・川端 自入）

動物目撃情報調査にご協力を！

皆様が、最近丹沢や大山に登ったときに、イノシシ・クマ・カモシカ・ヤマビル・ニホンジカを見たことはありませんか？そんな時は、下記の連絡先まで動物名・目撃頭数・日時・場所・目撃者氏名の情報提供を是非お願いいたします！

（連絡先）

〒243-0121 厚木市七沢657

神奈川県自然環境保全センター野生生物課

TEL 046-248-6682

FAX 046-248-0737

メール

hozenc-yaseiseibutsu.197@pref.kanagawa.jp

丹沢大山で見られる生きもの



タンザワフキバッタ

丹沢の名前がついている昆虫は約10種類いるけれど、タンザワフキバッタがもっとも見つけやすい。名前にバッタとついているが、本当はイナゴの仲間（バッタ類とイナゴ類の違いを図書館で調べてみよう）。羽が短く、左右で重ならないのが見分けのポイント。もし羽が背中重なっていたら、それはヤマトフキバッタだ。冬の寒い時期は卵で過ごし、成虫は夏休みごろに見られるようになる。それまでに図鑑で調べておこう。

〔 文・写真：県立秦野ビジターセンター
(財)神奈川県公園協会 青木 雄司 〕

*** ニュースレターに関するお問い合わせ ***

【発行元】

丹沢大山総合調査実行委員会 広報県民参加部会

【お問い合わせ】

丹沢大山総合調査実行委員会 広報県民参加部会
横浜事務局（神奈川県環境農政部緑政課自然公園班内）
〒231-8588（住所不要）
TEL：045(210)4315
FAX：045(210)8848
e-mail：szkoen.258@pref.kanagawa.jp
URL：http://www.minnano-tanzawa.net

お待ちしております！

ニュースレターに関するご意見や、ご感想をお問い合わせ先までお寄せください。また、丹沢大山にまつわる楽しい体験談も募集中です。みなさんの声をお待ちしています！



丹沢大山総合調査人材登録バンクに登録しませんか？

人材バンクでは、ご登録いただいた方に調査・その他活動に関する情報を随時お届けしております。平成17年1月末現在で195人の方のご登録をいただいております。さらに多くの方のご登録をお待ちしております。

大募集中！

ボランティア
申し込み

人材バンク
登録

派遣

依頼

- ・専門的な調査
- ・県民参加型の調査
- ・公募型調査
- ・実行委員会への協力

【お申込方法】申し込み票をお送り致しますので、下記の申し込み先に、お名前・ご住所・ご連絡先(電話番号・メールアドレス等)をお知らせください。

【お申込先】広報県民参加部会 横浜事務局 TEL：045(210)4315
e-mail：szkoen.258@pref.kanagawa.jp



ブナの芽生え

ブナの実の大豊作は6年に一度巡ってくるといわれている。栄養が豊富な実は、動物たちの貴重な食物となる。翌春、無事に芽生えることができたとしても、病気などさらなる難関をくぐり抜け、大木に成長できるものはほんの一握りに過ぎない。

〔 文：県立丹沢湖ビジターセンター

(財)神奈川県公園協会 永田 史絵 〕

(写真：東京農工大学 湯浅 卓)

*** 「公募型調査（子ども部門）」のお知らせ ***

平成16年度の大人部門に引き続き、平成17年度は、子どもたちにも丹沢大山総合調査に関わってもらえるようなプログラムを実施する予定です。

詳しい内容が決まり次第、お知らせ致します。どうぞご期待ください。

【お問い合わせ】

丹沢大山総合調査実行委員会 広報県民参加部会
横浜事務局（神奈川県環境農政部緑政課自然公園班内）
〒231-8588（住所不要）
TEL：045(210)4315
e-mail：szkoen.258@pref.kanagawa.jp

【表紙の写真】このアズマイチゲ（キンボウゲ科）は、昨年4月中旬に、大山山頂に近い登山道わきの笹藪に食害や盗掘を免れて咲いていた一輪を発見したものです。（撮影者コメント）